

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 3 月 4 日作成)

小委員会名	教育将来検討小委員会	主 査 名：元岡展久 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会	建築教育委員会	委員長名：平田京子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築を取り巻く社会環境の変化、建設産業の変化、建築系学生の進路の多様化を鑑み、建築教育の将来像を検討し、調査研究を行う。特に、こども市民教育、防災教育、文化財利用といった、建築や都市を使う視点、住み手の視点に関わる分野の教育について提案することを目指す。また、実践的なワークショップを通じた建築教育についての手法や効果について調査を行う。</p> <p>初年度：活動計画の確認、研究集会 2 年度：事例収集、研究集会 3 年度：研究中間まとめ、研究集会 4 年度：研究集会、研究報告書の作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	<p>主査：元岡展久 (お茶の水女子大学) 幹事：平田京子 (日本女子大学) 委員：妹尾理子 (香川大学)、長澤夏子 (お茶の水女子大学)、田口純子 (東京大学)、阿部俊彦 (早稲田大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校建築教育調査研究 WG：開催予定数 9 回 活動実績：実践事例、教材などの調査。工業高校建築教育研修会の企画および実施 ・ 近代建築アウトリーチ WG：開催予定数 1 回 活動実績：DOCOMOMO JAPAN との連携、海外事例調査 ・ 防災教育 WG：開催予定数 5 回 活動計画：防災教育事例の横断的調査、防災教育カリキュラムの作成など ・ 子ども教育 WG：開催予定数 0 回 活動計画：子どもに関連する建築教育活動の調査、子ども教育事例の実践・制作 ・ 住教育 WG：開催予定数 1 回 活動計画：子どもに関連する建築教育活動の調査、子ども教育事例の実践・制作 ・ デザイン/ビルド設計教育 WG：開催予定数 4 回 活動実績：委員による実践事例の情報共有。学会大会での研究集会の企画 	
2019 年度予算	2420000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/edu/s0/

項 目	自己評価				
委員会開催数	0 回 (年度内計画を含む)				
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なしなし				
講習会					
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. 建築教育シンポジウム (資料名) 建築教育シンポジウム資料集</td> <td style="text-align: right;">参加者数 44 名</td> </tr> <tr> <td>2. 工業高校建築教育研修会</td> <td style="text-align: right;">参加者数 20 名</td> </tr> </table>	1. 建築教育シンポジウム (資料名) 建築教育シンポジウム資料集	参加者数 44 名	2. 工業高校建築教育研修会	参加者数 20 名
1. 建築教育シンポジウム (資料名) 建築教育シンポジウム資料集	参加者数 44 名				
2. 工業高校建築教育研修会	参加者数 20 名				
大会研究集会	1. 研究懇談会「これからの防災減災教育- 幼児からの発達段階に応じた学びの深化と体系化」 参加者数 26 名				
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし				

目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 一般市民、子どもを含め、建築教育の社会への展開、貢献について議論が進められた 2. 高校における建築教育の調査・分析、研修会が行われた
委員会活動の問題点・課題	1. 活動の成果を情報共有する十分な手法がなく、今後課題とする 2. 各 WG の活動がより活発になるためのアクションが課題である